

推奨する（初期）使用方法

○本バージョンは 241001 で使用期限は 2025 年 10 月 30 日までです。

使用期限が近づくと起動時にメッセージが表示されます。

○本バージョンの D. B. (データベース)バージョンは「6」です。

D. B. 6 の用紙は 2024 年以降の用紙対応となっています。

○既にご案内の通り AccessRuntime は AccessRuntime2016 以降です。

導入方法は別紙をご覧ください。

windows は windows7sp1 以降で動作します。

○初回起動時のみ Access のセキュリティ機能が動作します。

製品版 Access と Runtime 版 Access では対処が多少違います。

別紙、インストール手順をお読み下さい。

一度対処を行えば次回起動時から必要ありません。

○本システムの通常配布は Office 製品 64bit と 32bit 版が入っています。

○Windows が 64bit の場合でもインストールされている office が 32bit の場合は Runtime も 32bit 版となります。逆にインストールされている office が 64bit の場合は Runtime も 64bit 版となります。

○システムを起動したら、最初に「入力支援」から「施術料金」・「師会の審査料%」を確認し、修正がある場合は修正してください。

詳細は「あはき療養費料金表」を確認してください。

名称	1局所	2局所	3局所	4局所	5局所
通所	450	900	1,350	1,800	2,250
訪問1	2,750	3,200	3,650	4,100	4,550
訪問2	1,600	2,050	2,500	2,950	3,400
訪問3(3~9人)	910	1,360	1,810	2,260	2,710
訪問3(10人以上)	600	1,050	1,500	1,950	2,400

変形徒手矯正術	470
温電法	180
温電法・電気光線器具	300

○システム修正用の更新プログラム

使用期間内にシステムの更新があった場合は「<https://www.asubu.jp/ASS/>」にて修正版を公開します。

その際、アナウンスと共にユーザー名とパスワードが必要になりますので事務局までお問い合わせください。

○システムの制限事項（月途中で施術内容が変化する場合）

「はり・きゅう」は1術が2回以上変更された場合に「用紙の摘要欄に表示される1術の表示内容」と「一部負担金に表示される○」が月の最後に施術した「はり・きゅう」のどちらかになります。

レセプト管理

共済 患者B 男 生年月日 昭和13年 8月 30日 86才 プレビュー

住所 山梨県甲府市西田町 施術所 施術所A 施術者A D-Ver. 6

鍼灸治療 マッサージ治療

レセプト番号 130

施術内容 発症・同意 印刷設定

1術の計算欄 (用紙の1段目)

2術の計算欄 (用紙の2段目)

摘要欄

初検料	円	1術	2回	2術	1回
通所	1,610 円×	1 回=	1,610 円	1,770 円×	1 回= 1,770 円
訪問1(1人)	円×	回=	円	円×	回= 円
訪問2(2人)	2,760 円×	1 回=	2,760 円	円×	回= 円
訪問3(3~9人)	円×	回=	円	円×	回= 円
訪問3(10人~)	円×	回=	円	円×	回= 円
電療料 () 電気計 () 電気温灸 () 電気光線 ()	100 円×	3 回=	300 円		
施術場所 () 特別地域(加算)	円×	回=	円		
往療理由	往療料	2,300 円×	1 回=	2,300 円	
施術報告交付料	480 円×	1 回=	480 円		
合計				9,220 円	
一部負担金 3割				2,766 円	
請求額				6,454 円	

請求区分 新規 転帰 継続 摘要 C P

関節拘縮

↑ 摘要欄に続けて 次の文章を代入

主要症状 主 経過 経過 既往症 おうしょう

一部負担金(1日) ←発行 日分 初回 施術交付 0 回 一部負担金(1月)

領収書発行(1日) 本日 年 月 日発行 9月分 → 領収書発行(1月)

例えば月に1術が「はり→きゅう」となった場合は摘要欄に「1術：きゅう」と記述され実際と違う表記になります。一部負担金明細書の「施術○印欄」も同様です。

「マッサージ」で月に3回以上施術局が変化した場合に通所の2段目に出てくる施術計算欄は2回目以降の施術局に全て吸収されます。

国保 生年月日 才 プレビュー

住所 施術所 山田太郎 D-Ver. 6

○鍼灸治療 ●マッサージ治療 申請年月 令和 6 年 9 月 ←本年月 集計年月 令和 6 年 9 月

レセプト番号 109 同意日

施術内容 発症・同意 印刷設定 患者・被保険

月最初の局数による計算欄
(用紙の1段目)

施術変更2回目以降の局数による計算欄
施術変更3回目以降もここで計算される
(用紙の2段目)

通所 円× 回= 円 温 電 法 180 円× 1 回= 180 円
訪問1(1人) 円× 回= 円 温 電・電気光線 円× 回= 円
訪問2(2人) 円× 回= 円
訪問3(3~9人) 円× 回= 円
訪問3(10人~) 円× 回= 円

通所 円× 回= 円
訪問1(1人) 円× 回= 円
訪問2(2人) 円× 回= 円
訪問3(3~9人) 円× 回= 円
訪問3(10人~) 円× 回= 円

往療理由

往療 円× 回= 円
特別地域(加算) 円× 回= 円
往療料 円× 回= 円
施術報告交付料 年 月 円× 回= 円

合計 1,120 円
一部負担金 0 割 0 円
請求額 1,120 円

主要症状
経過
既往症

一部負担金(1日) ←発行- 日分 施術交付 0 回 一部負担金(1月)
領収書発行(1日) 本日 年 月 日発行 9月分 → 領収書発行(1月)

例えばマッサージの施術局数が「3局→2局→1局」と変化した場合に3回目の「1局」は「2局」に組み込まれ実際より過剰請求になります。これは月に局が3回変化することはない、あるいは申請用紙の通所・訪問欄に3段目を設ける必要が無いと判断したためです。

○データのバックアップ手順

1. 「システム設定」または「データ管理」からバックアップします。

データ管理

データの整合性と容量確保のため定期的に行ってください。実行後は_BackDBを作成。 → 使用中データの最適化と修復

現在のデータ格納場所 格納場所変更

開く

現在使用中データ(通常は療養費データ) サンプルデータ

複製を作成するファイル名

バックアップ → 左の名前で上記データの複製を作成する

保管データ一覧

保存名	
NULL	
サンプルデータ	
マニュアル用	
療養費データ	
療養費データ2022	
療養費データ_土橋	

2.複製する名前を付け
3.上記ボタンをクリック

4.新しく一覧表示されれば終了です

選択ファイル名 NULL
↓ このファイル名で以下の処理をする

削除 切替える 切替えられているデータを「療養費データ(初期)」に戻す

レセプトは申請月で昇順表示されますので、データを日付で管理・削除する際に利用してください。 レセプト 削除用一覧表示

2. 外部にデータを移す場合

1. 「1」の作業を終了させてから

2. 「開く」ボタンをクリックするとデータ格納場所のフォルダが開きます

3. コピーまたは移動したいフォルダを開いておき windows の操作（ファイルドラッグ）でファイル操作します。

4. コピーまたは移動できれば終了です。

必要のないフォルダは閉じてください。

3. 外部からデータを移す場合

基本的に「2」の逆操作です。

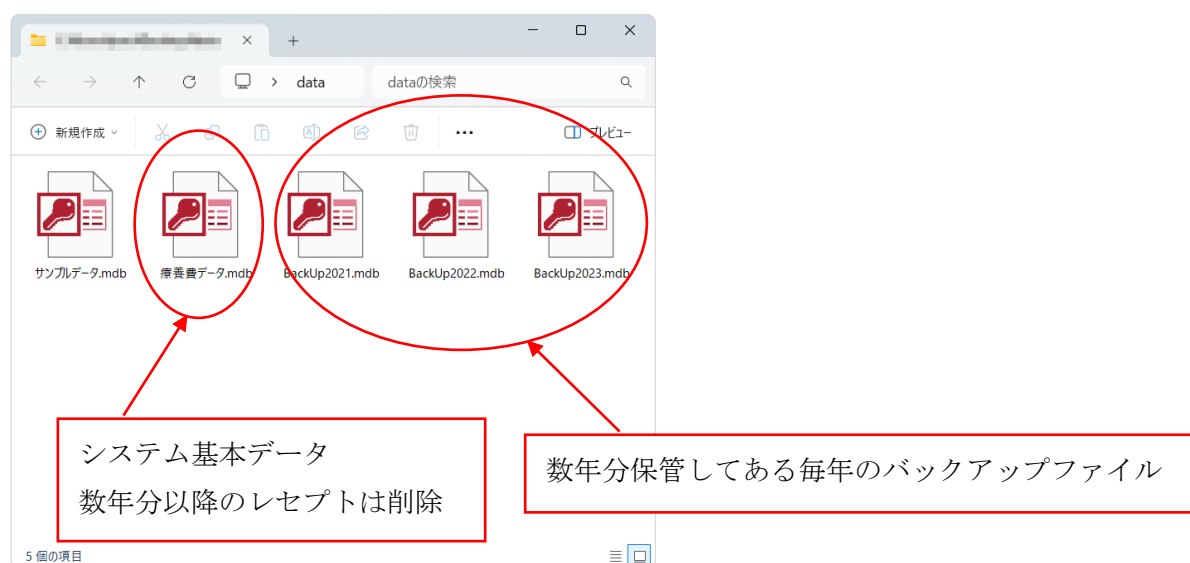
ただし、

「療養費データ」ファイルは基本ファイルですので、
ファイルの移動・削除をしないようにしてください。

4. 扱うデータ数が多くなった場合、次項の「レセプト削除」と組み合わせて 世代管理することが有効です。例えば以下、

1. 普段の作業は過去(例えば)2年間を扱うようにすることを基本とし、
2. 毎年バックアップ時に「BackUp 西暦」みたいな名前を付ける。
3. バックアップされたファイルが正しいことを確認したら、
4. 普段の作業のレセプトデータを(例えば)3年より前を削除する。

この操作によって、毎年2年分のバックアップファイルが作られます。



○レセプトの削除

管理するレセプトの数が増えるとシステムの動作が重くなります。

必要に応じてデータの削除をしてください。

本システムを施術録代わりに使用している場合の保管期間は5年です。

1. 「システム設定」または「データ管理」より「レセプト削除用一覧表示」をクリックします。

データ管理

データの整合性と容量確保のため定期的に行ってください。実行後は、_BackDBを作成。 → 使用中データの最適化と修復

現在のデータ格納場所: 格納場所変更 システム初期フォルダへ
開く C:\Users\pao\DropBox\Documents\開発\Office\診療費申請システム5 (カルテ付)
2024 - 10\data

現在使用中データ(通常は療養費データ) サンプルデータ

複製を作成するファイル名
バックアップ → 左の名前で上記データの複製を作成する

保管データ一覧

保存名
NULL
サンプルデータ
マニュアル用
療養費データ
療養費データ2022
療養費データ_土橋

選択ファイル名: NULL
↓ このファイル名で以下の処理をする

削除 切替える 切替えられているデータを「療養費データ(初期)」に戻す

レセプトは申請月で昇順表示されますので、データを日付で「管理」削除する際に利用してください。 レセプト 削除用一覧表示

2. 一覧に表示された行を選択して「Delete」キーで削除できます。

削除の確認画面が出ます。

レセプトデータ削除用										
申請和暦	申請年	申請月	患者氏名	保険種別	提出和暦	提出年	提出月	提出日	バージョン番号	
令和	3	6	患者A	国保	令和	3	6	1	1	5
令和	3	6	患者A	国保	令和	3	6	1	1	5
令和	4	4	患者C	後期高齢	令和	4	4	1	1	5
令和	4	4	患者B	共済	令和	4	4	1	1	5
令和	4	4	患者A	国保	令和	4	4	1	1	5
令和	4	5	患者E	特別国保	令和	4	5	1	1	5
令和	6	9	患者(マッサーミ)	国保	令和	6	9	1	1	6
令和	6	9	患者(はりきゅう)	共済	令和	6	9	1	1	6
※				0						

削除する最初の行を選択し、「Shift」キーを押しながら最後の行を選択すると間の行全てを選択できます（windows の標準選択方法）。

3. 削除する前にバックアップをしておく と安心です。

4. 削除するデータについて。

「申請年」で判断するか「バージョン番号」で判断してください。

「バージョン番号 1」：平成 20 年(2008) 以前

「バージョン番号 2」：平成 22 年(2010) 以前

「バージョン番号 3」：平成 30 年(2018) 以前

「バージョン番号 4～5」：令和 6 年(2024 年 10 月) 以前

「バージョン番号 6」：令和 6 年(2024 年 10 月) 以降

「バージョン番号 4」より前のデータは削除しても良いかと思います。

○Runtime 版ではマウスの右クリックが使用出来ません。

windows のショートカットキーが使用出来ます。

コピー : [Ctrl]+C または [Ctrl]+[Insert]

ペースト : [Ctrl]+V または [Shift]+[Insert]

カット : [Ctrl]+X または [Shift]+[Delete]

○本システムの体験版(必要に応じて配布)について。

1. 使用期限はインストールから 3 ヶ月で機能制限があります。
2. データは「サンプル」の使用になります。
3. 継続使用には入手元代理人より「正式版」を入手して下さい。
4. 「<https://www.asubu.jp/ASS/>」でも入手できます。